

## 講師基準

- (1) 講師は、担当科目に関し、十分な知識・経験を持つ者を充てるものとし、その講師要件については、別表「講師要件類型表」及び「担当講師一覧」のとおりとする。
- (2) 演習（実技講習）については、定員20人当たり1人の講師が担当する。また、講師のほかに助手を確保する等、受講者全員が十分な演習（実技講習）ができるよう努めること。
- (3) 講義に関しては質疑応答ができるレベル、演習については、個別のケースについて他者に的確に指導できるレベルであることを必要とする。
- (4) 実務経験の算定については、次のとおり取り扱う。
  - ア 実務経験は、各資格取得（又は、研修修了）後から算定するものとし、資格取得（研修修了）前の業務経験は算定しない。
  - イ 実務経験とは、介護福祉士であれば介護業務、社会福祉士であれば相談援助業務等の当該資格に関わる業務経験を指す。
  - ウ 実務経験は、常勤又は非常勤で雇用され、介護等の業務に従事した期間が通算365日以上であり、かつ、現に就労した日数が通算180日以上ある場合に1年以上の実務経験があると換算する。雇用形態が登録等の者及び勤務日数が年間180日未満のものは実務経験として算定しない。
  - エ 実務経験について、当該業務について専任・兼任の別は問わないが、複数職種を兼務している場合は主たる業務についてのみ実務経験に算定する。
- (5) この要件に該当しないもので、その業績を審査することによって、当該教科の担当に適任であると認められるものについては、事前の協議により講師として承認するものとする。

## 別表（別紙第2関係）

講師要件類型表

記号	必要資格等	実務経験等	その他要件
ア	社会福祉士	社会福祉士として、3年以上生活指導員等の相談援助業務に従事経験がある者。	
イ	介護福祉士	介護福祉士として、3年以上介護職員、訪問介護員等の直接援助業務に従事経験がある者。	
ウ	サービス提供責任者	介護福祉士登録後並びに介護職員基礎研修課程又は、訪問介護員養成研修1級課程修了後、3年以上サービス提供責任者として従事経験がある者。	
エ	看護師・保健師	看護師又は保健師として、3年以上の従事経験がある者。（准看護師での従事経験は含まない）	
オ	訪問看護師	訪問看護業務に3年以上従事経験を有する看護師。（准看護師での従事経験は含まない）	
カ	在宅福祉分野で活動中の保健師	地域での訪問指導等の在宅福祉サービスに関わる業務に3年以上従事経験がある者。	
キ	医師	医師免許を取得している者。	
ク	理学療法士	理学療法士として、3年以上機能訓練業務に従事経験のある者。	
ケ	作業療法士	作業療法士として、3年以上機能訓練業務に従事経験のある者。	
コ	介護支援専門員	介護支援専門員証を有し、2年以上ケアプラン作成業務に従事経験がある者。	
サ	教員	福祉科の高等学校教員免許を有し、現在高等学校において、当該科目内容を教授している者。又は、大学・短大・高等技術専門学校・介護福祉士養成学校、介護福祉士受験資格を得られる高等学校等において、現在、当該科目に相当する科目を教授している者。	教員については、すべての科目において講師要件に含めるが、シラバスにより当該教授内容を確認できる者に限る。
シ	行政職員	介護保険主管課・障害者福祉主管課において、1年以上行政職員として現在勤務している者。	
ス	臨床心理士	臨床心理士として、3年以上相談援助業務に従事経験がある者。	
セ	管理栄養士・栄養士	管理栄養士又は栄養士として、3年以上勤務経験がある者。	高齢者福祉施設等での勤務経験がある者が望ましい。
ソ	医学・看護系の学部・学科の教員	医学・看護系大学等の学部・学科において、現在、当該科目に相当する科目を教授している者。	

【介護職員初任者研修課程】

担当講師一覧

科目名	
<b>① 職務の理解</b>	
1. 多様なサービスの理解	
2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者
<b>② 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	
1. 人権と尊厳を支える介護	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士
2. 自立に向けた介護	エ. 看護師、保健師 コ. 介護支援専門員
<b>③ 介護の基本</b>	
1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
2. 介護職の職業倫理	
3. 介護における安全の確保とリスクマネジメント	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師
4. 介護職の安全	
<b>④ 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	
1. 介護保険制度	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 シ. 行政職員
2. 医療との連携とリハビリテーション	イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ク. 理学療法士 ケ. 作業療法士
3. 障害福祉制度およびその他制度	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 シ. 行政職員
<b>⑤ 介護におけるコミュニケーション技術</b>	
1. 介護におけるコミュニケーション	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師

2. 介護におけるチームのコミュニケーション	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 コ. 介護支援専門員
<b>⑥老化の理解</b>	
1. 老化に伴うところとからだの変化と日常	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師
2. 高齢者と健康	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
<b>⑦認知症の理解</b>	
1. 認知症を取り巻く状況	イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ス. 臨床心理士
2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
3. 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士
4. 家族への支援	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ス. 臨床心理士
<b>⑧障害の理解</b>	
1. 障害の基礎的理解	エ. 看護師、保健師
2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
3. 家族の心理、かかり支援の理解	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 オ. 訪問看護師 カ. 在宅福祉分野で活動中の保健師
<b>⑨ところとからだのしくみと生活支援技術</b>	
<b>【Ⅰ. 基礎知識の学習】</b>	
1. 介護の基本的な考え方	ア. 社会福祉士
2. 介護に関するところのしくみの基礎的理解	イ. 介護福祉士
3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	エ. 看護師、保健師
<b>【Ⅱ. 生活支援技術の講義・演習】</b>	
4. 生活と家事	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師

5. 快適な居住環境整備と介護	イ. 介護福祉士 ク. 理学療法士 ケ. 作業療法士
6. 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	⑨の4と同じ
7. 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
8. 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師 セ. 管理栄養士、栄養士
9. 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	⑨の4と同じ
10. 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
11. 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
12. 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	
【Ⅲ. 生活支援技術演習】 13. 介護過程の基礎的理解 14. 総合生活支援技術演習	⑨の4と同じ
⑩振り返り	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師
1. 振り返り 2. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	

【生活援助従事者研修課程】

担当講師一覧

科目名	
<b>① 職務の理解</b>	
1. 多様なサービスの理解	
2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者
<b>② 介護における尊厳の保持・自立支援</b>	
1. 人権と尊厳を支える介護	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士
2. 自立に向けた介護	エ. 看護師、保健師 コ. 介護支援専門員
<b>③ 介護の基本</b>	
1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
2. 介護職の職業倫理	
3. 介護における安全の確保とリスクマネジメント	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師
4. 介護職の安全	
<b>④ 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</b>	
1. 介護保険制度	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 シ. 行政職員
2. 医療との連携とリハビリテーション	イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ク. 理学療法士 ケ. 作業療法士
3. 障害福祉制度およびその他制度	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 シ. 行政職員
<b>⑤ 介護におけるコミュニケーション技術</b>	
1. 介護におけるコミュニケーション	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師

2. 介護におけるチームのコミュニケーション	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 コ. 介護支援専門員
<b>⑥老化と認知症の理解</b>	
1. 老化に伴うところとからだの変化と日常	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師
2. 高齢者と健康	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
3. 認知症を取り巻く状況	イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ス. 臨床心理士
4. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
5. 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ス. 臨床心理士
6. 家族への支援	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ス. 臨床心理士
<b>⑦障害の理解</b>	
1. 障害の基礎的理解	エ. 看護師、保健師 キ. 医師 ソ. 医学・看護系の学部・学科の教員
2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 オ. 訪問看護師 カ. 在宅福祉分野で活動中の保健師
3. 家族の心理、かわり支援の理解	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 オ. 訪問看護師 カ. 在宅福祉分野で活動中の保健師
<b>⑧ところとからだのしくみと生活支援技術</b>	
【Ⅰ. 基礎知識の学習】 1. 介護の基本的な考え方 2. 介護に関するところのしくみの基礎的理解 3. 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 エ. 看護師、保健師
【Ⅱ. 生活支援技術の講義・演習】 4. 生活と家事	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師

5. 快適な居住環境整備と介護	イ. 介護福祉士 ク. 理学療法士 ケ. 作業療法士
6. 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 7. 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 8. 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9. 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	⑧の4と同じ
【Ⅲ. 生活支援技術演習】 10. 介護過程の基礎的理解	⑧の4と同じ
⑨振り返り 1. 振り返り 3. 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	ア. 社会福祉士 イ. 介護福祉士 ウ. サービス提供責任者 エ. 看護師、保健師